

プログラム

2024年12月4日現在

【2025年1月8日（水）】

10:00-12:00

シンポジウム1：製薬企業における毒性発現機序研究の今

座長：荒木 徹朗（協和キリン株式会社）
梶谷 智秋（住友ファーマ株式会社）

- 新規抗がん剤 TEAD 阻害薬による可逆的な腎毒性とその機序解明
大槻 博礼（協和キリン株式会社）
- CYP1A1 阻害作用に基づく AHR 活性増強作用に着目した、肝毒性の発現機序に関する研究
依田 智美（住友ファーマ株式会社）
- フッ化ピリミジン系抗がん剤投与による手足症候群発症メカニズム検討
高野 美里（エーザイ株式会社）
- CIVM を用いた薬剤性下痢評価の多角的アプローチ
大谷 尚子（アステラス製薬株式会社）

13:30-14:30

特別講演

座長：吉成 浩一（静岡県立大学薬学部）

仮説生成に特化した AI 創薬
豊柴 博義（株式会社 FRONTEO）

14:40-16:40

シンポジウム2：毒性研究における AI の活用

座長：水野 忠快（東京大学大学院薬学系研究科）
安部 賀央里（名古屋市立大学大学院薬学研究科）

- 毒性メカニズム理解におけるシステム生物学的手法や機械学習の利活用
苅谷 嘉顕（東京大学大学院薬学系研究科）
- 学術論文の政策引用からみる毒性に関する国際意思決定プロセスの理解
浅谷 公威（東京大学大学院工学系研究科）
- タンパク質立体構造と分子シミュレーションによる毒性評価
武田 一貴（北里大学獣医学部獣医学科）
- 毒性学を志向した言語モデルによる潜在表現抽出
水野 忠快（東京大学大学院薬学系研究科）

【2025年1月9日（木）】

10:00-12:00

シンポジウム3：毒性と性差

座長：黒川 洵子（静岡県立大学薬学部）

諫田 泰成（国立医薬品食品衛生研究所薬理部）

1. 性差とライフステージを意識した女性の健康推進にむけて
小宮 ひろみ（国立成育医療研究センター）
2. 働かない X 染色体が性差を生む？ -1 細胞オミクス解析で X 染色体不活化からの逃避を解き明かす-
友藤 嘉彦（東京大学大学院医学系研究科）
3. 運動器機能解析に基づいた疾患・薬物毒性における性差分子基盤の構築
坂本 多穂（静岡県立大学薬学部）
4. 性差を考慮した心臓安全性評価試験を目指したトランスレーショナル研究
黒川 洵子（静岡県立大学薬学部）

12:15-13:15

ランチンセミナー（共催：株式会社フェニックスバイオ）

培養肝細胞が分泌する液性因子による自律的な分化維持メカニズムについて

石田 雄二（株式会社フェニックスバイオ 研究開発部）

13:30-14:30

教育講演

座長：吉成 浩一（静岡県立大学薬学部）

慢性肝疾患における臓器線維化と発がんの分子機構

河田 則文（大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学）

14:40-16:40

シンポジウム4：肝疾患・肝毒性の機序

座長：松原 勤（大阪公立大学大学院医学研究科）

志津 怜太（静岡県立大学薬学部）

1. 核内受容体 CAR の肝細胞増殖誘導に関する機序の理解
志津 怜太（静岡県立大学薬学部）
2. 新規 in vivo 実験系における肝薬物代謝・毒性の解析
紙谷 聡英（東海大学医学部医学科基礎医学系分子生命科学）
3. 肝臓由来液性因子ニューレグリン 1 がつなぐ臓器連環
合田 亘人（早稲田大学先進理工学部）
4. 肝星細胞から診た慢性肝疾患の分子病態
松原 勤（大阪公立大学大学院医学研究科）